

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

山口県 高校入試情報

令和7年度山口県入試の全体傾向

●大問構成，問題数について

○大問数：地2・歴2・公1・地歴公1の計6問（昨年と同じ）

○小問数：37問（昨年は40問）

○文章記述問題は10問（昨年と同じ）

●出題傾向について

○小問数が多いので時間配分に注意が必要。

○地理分野では地形図にルートを作図する問題も出題されている。

○歴史分野では，並べ替え問題が1問出されている。

○各分野とも資料数が多いので，普段から出題頻度の高い資料は押さえておく。

★山口県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■活用問題の出題

・統計やグラフなど資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため，資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

➡

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」（p. 194～197）では，複数の資料を読み取る問題や，自分の意見を記述する問題など，最新入試問題からピックアップした，今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■作業・作図問題の出題

・例年，地理分野において作業や作図をする問題が出題されている。さまざまなパターンの問題で練習しておくことが必要。

➡

新研究で対策！

●「作業問題を克服しよう！」（p. 188～189）に，最新の入試問題からピックアップした，様々なパターンの作業・作図問題を掲載。十分な問題量で，しっかり練習できます。

★新研究で出題した山口県の入試問題(令和7年度)

◆p.63 ◆p.89 大問3 ◆p.93 大問3 ◆p.101 大問1 ◆p.113 大問2 ◆p.113 大問3

◆p.150 大問1 ◆p.150 大問2 ◆p.157 大問2 ◆p.179 大問1 ◆p.200 大問1

山口県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★山口県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●
		日本の姿			●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●
		アジア州	●	●	
		ヨーロッパ州，アフリカ州		●	●
		北アメリカ州，南アメリカ州，オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法	●	●	●
		日本の自然，人口	●	●	
		日本の資源・産業，世界との結びつき	●	●	●
		九州地方，中国・四国地方		●	
		近畿地方，中部地方	●		●
		関東地方，東北地方，北海道地方	●	●	●
	歴史的分野	文明のおこりと日本	●		●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	現代の日本と世界	●		●
		現代社会と私たちの生活		●	●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治，国会	●		●
		内閣・裁判所，三権分立		●	
		地方自治			
		消費生活と流通・生産，市場経済と金融	●	●	●
		財政，国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合	●	●	●
	大問・小問	大問数	6	6	6
		小問数	42	44	37
		記号解答	20	17	18
		用語記述	12	15	7
	文章記述	文章記述	9	11	10
		作業・作図	1	1	1